

平膜評価試験機SEPA CF II



クロスフロー方式の平膜評価試験機です。

ポンプシステムと組み合わせることにより、水処理は元より、食品・化学プロセス・生物医学分野等、様々な産業への膜利用の検討が容易に行えます。

以下に特徴と平膜の設置法をご紹介します。

詳細はお問合せください。

SEPA CF II の特徴



許容運転圧69barまで

- MF膜等の低圧用途から海水淡水化・高濃度排水回収等の高圧用途まで、幅広い検討が可能。



油圧式ロックシステムで素早い着脱

- 平膜をセットしたセルを油圧機構で素早く、かつ均一に固定する事が可能。



市販スパイラル膜と同じ環境を作り出す

- ミニモジュールでの試験と同様の試験が可能。
- 有効膜面積：140cm²

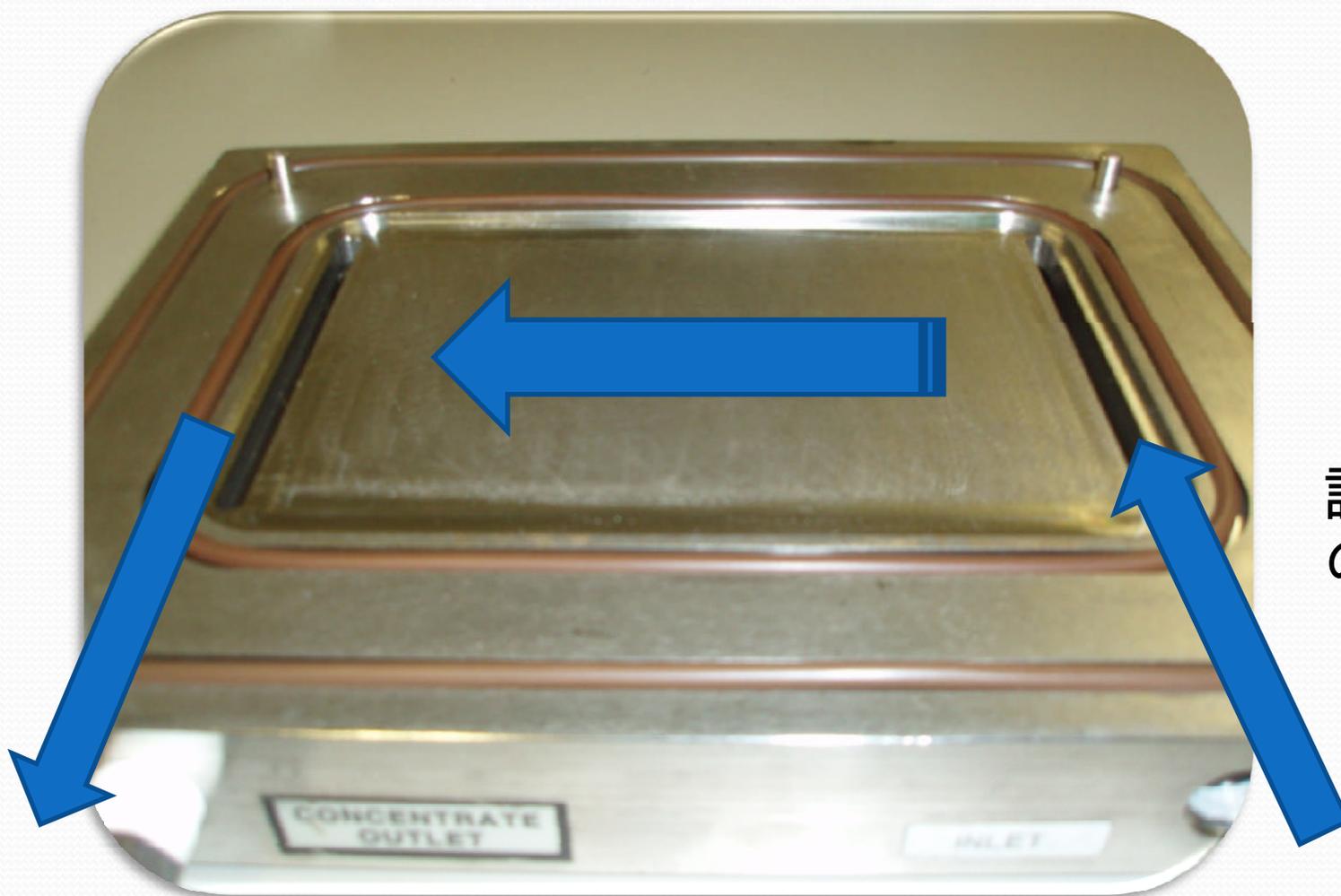
ステンレスの板（セル）で平膜を挟みます



TTK120130

平膜の設置

セルボディ窪み深さ約2mm



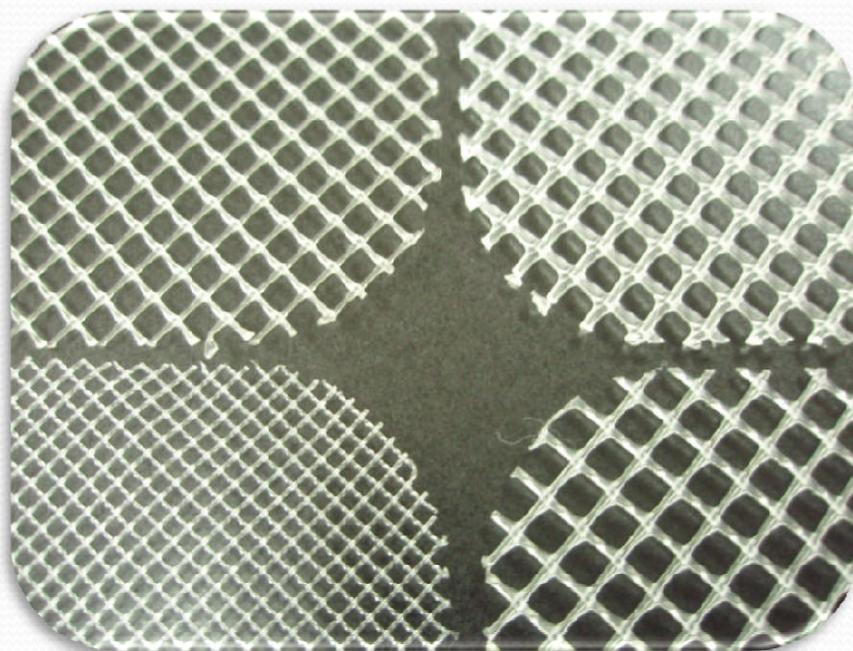
試験流体
の流れ

TTK120130

平膜の設置

目的に適した供給水流路材を選択

クロスフローを作り上げる

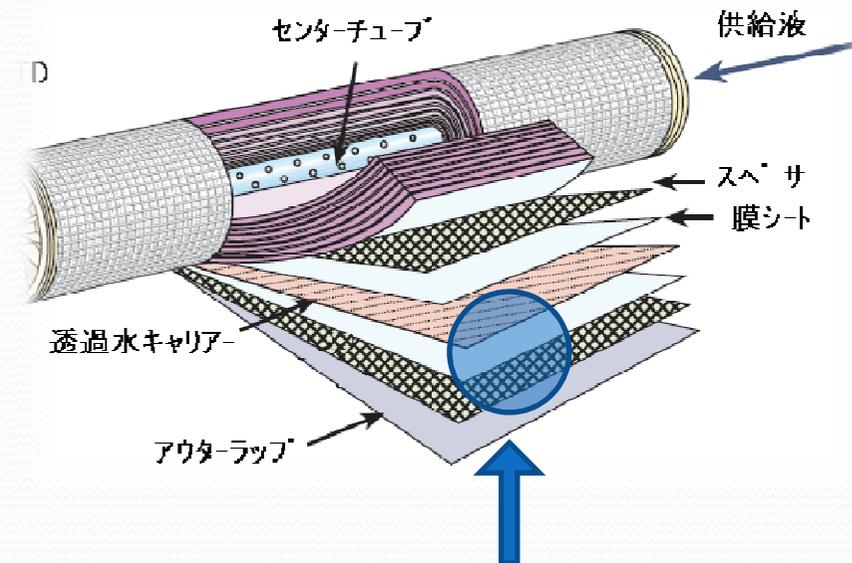


平膜の設置

平膜の設置と透過水流路材



スパイラル膜モジュール



膜モジュールのこの部分を再現

主な製品仕様

項目	仕様	備考
平膜有効膜面積	140cm ²	
許容最大圧力	69bar	
許容最高温度	177°C	SEPA本体
接続口径	供給(濃縮)：1/4"FNPT 透過：1/8"FNPT	
セルボディ材質	SUS316	
セルホルダー材質	アルミニウム	
オーリング	VITON	
寸法	20×28×20 (cm)	セルホルダー (外部)
重量	セルボディ：28kg セルホルダー：21kg	